

2022年9月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	7,099,386	538,649	1318.0%	36,780,150	19.3%
国内旅行	4,424,249	1,062,742	416.3%	5,622,304	78.7%
訪日旅行	51,215	6,547	782.3%	1,981,551	2.6%
合 計	11,574,850	1,607,938	719.9%	44,384,005	26.1%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ 5 社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また、コロナ以前と比較するため、2019年同月比を基準に記載しております。

1. 海外旅行

帰国の際に義務づけていた72時間以内の陰性証明書の提出が、9月7日より不要になったことを受け、レジャー層の回復にむけた動きがみられました。これまでは、知人訪問・帰省・出張を目的とした航空券手配が大多数の割合を占めておりましたが、9月に入りパッケージツアーによる送客数が先月比157%と増加しており、ハワイが全体の33%を占めるなど、レジャー需要を牽引しました。また、添乗員同行ツアーによるヨーロッパ方面が先月比635%に伸びるなど、コロナ以前の水準には程多いものの、回復に向けた兆しが見え始めております。

HISは、ハワイ州観光局とレスポンスブル・ツーリズム「マラマハワイ（Mālama Hawai'i）」の推進に向けたパートナーシップ協力覚書の締結を発表し、日本とハワイを繋ぐ観光業界における先導役として再生型観光（リジェネラティブ・ツーリズム）を促進すべく、新しいハワイ旅行の在り方を具現化したツアーラインナップの拡充に努めてまいります。

以上の結果、海外旅行の取扱高は、前年同月比 1318.0%、2019年同月比 19.3%の 70 億 9,938 万円となりました。

2. 国内旅行

引き続き、国の観光支援である「県民割」・「地域ブロック割」が実施されており、バスツアーにおける送客数は、前年同月比 9 倍以上の伸びを示しました。また、売上を牽引する航空機を利用したパッケージツアーでは、沖縄が前年同月比 392%、北海道が同 461%、九州方面が同 328%となりました。また、関西方面では、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを目的地としたツアーが伸びており、前年同月比 560%で更なる積み上げをみせております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症第 7 波の影響を受ける結果となっており、コロナ以前の 2019 年を超えるまでには至っておりません。

以上の結果、国内旅行の取扱高は、前年同月比 416.3%、2019年同月比 78.7%の 44 億 2,424 万円となりました。

3. 訪日旅行

新型コロナウイルス感染症の水際対策緩和として、1日当たりの入国者の上限を2万人から5万人へ引き上げ、更に全ての国を対象に、添乗員を伴わないパッケージツアーでの観光客の入国が認めるといった動きがあったものの、査証（ビザ）の免除や個人旅行の解禁は見送られるなど、訪日旅行需要の回復に向けたハードルは依然高い状況であり、レジャー需要の本格的な戻りには至っておりません。訪日旅行の取扱高は、前年同月比 782.3%、2019年同月比 2.6%の 5,121 万円となりました。

以上の結果、2022年9月の取扱高総計は、前年同月比 719.9%、2019年同月比 26.1%の 115 億 7,485 万円となりました。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
 広報室：050-1746-4177